

煌めく 女性リーダー塾

第8期

令和2年度

☆公開講演会 ☆アクションラーニング成果発表会 ☆ネットワーク勉強会

共通講座 オンライン公開講演会

●日時/令和2年11月26日(木) ●場所/オンライン開催

わたしらしくリーダーとして 活躍するための3つのコツ

～無理しても続かない。自分に合うリーダー像を実現させよう～

株式会社キャリアエラ 代表取締役 藤井 佐和子 氏



リーダーに必要なスキルとは？

リーダーには、①テクニカルスキル(専門能力)、②コンセプトチュアルスキル(問題を発見する能力)、③ヒューマンスキル(対人関係能力)の3つが必要だといわれています。これからリーダーを目指す皆さんが特に必要になってくるのは、コンセプトチュアルスキルです。競合他社の状況は？メンバーの状況は？など、広い視野で全体を俯瞰しながら情報収集すると、問題が発見できます。さらにリーダーになると抱える問題も大きくなり、一人で解決できないことも増えるので、手段を考え人を巻き込むなど、ヒューマンスキルが求められます。

解決に必要なスキルは、主体的なコミュニケーション、チームプレイ、社内ネットワーク構築、そしてEQ(感情知能指数)です。

ビジネスで成功している人は、EQが極めて高いといわれています。具体的には「自分や相手の感情を理解して、自分の気持ちをうまくコントロールしながら

相手の気持ちに働きかけることができる」人です。EQ力をより意識して使えば、きっと成果につながってきます。

リーダーには味方が必要です。EQ力を発揮し、たくさんの人とウィンウィンの関係を作っていくことも大切な仕事になってきます。その時に、自分が遠慮するような関係性ではなく、対等であることを意識すると良いと思います。

自分の強みを活かして 自分に合うリーダーに

私が実際にカウンセリングした事例を紹介します。この事例に基づいて、皆さんも自分なりの解決法や自分らしいリーダー像を考えてみてください。

事例① グイグイ引っ張るリーダーになるのは難しい。
キャラ的にも合わない

「カリスマ管理職タイプ」になる必要はありません。うまくチームが回ればやり方は自由！自分らしくない姿を演じたり、無理は禁物！続きません。自分の強みを活かした新しいリーダーを目指しましょう。

事例② 活躍しているリーダーと比べると足りないところがありそう

ミーティングでは、意見を「言う」だけでなく、どれだけ「通せたか」を意識しましょう。意見を通すには交渉や根回しが必要です。日頃から社内人脈を広げるよう努力しましょう。

事例③ 相手に配慮し過ぎたり、言い方が遠回しになってしまう

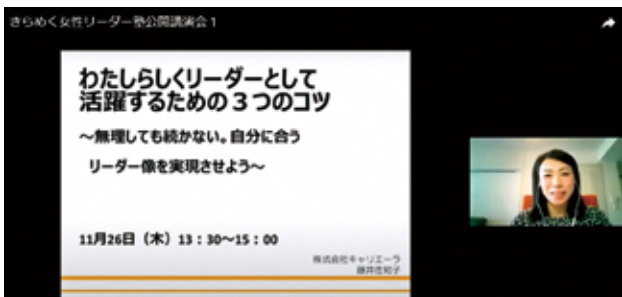
自信がない、嫌われたくないという気持ちが働いています。自信がないのは別に悪いことではありません。「嫌われないため」を「信頼されるため」に変えましょう。真正面からの戦術だけでなく味方を作り、意見収集した上で発言すると、自分だけの意見じゃないと安心して発信できます。

事例④ 任せきることができない

抱え込みリーダーの典型です。「頑張ればできる」を手放しましょう。仕事はチームプレイ。どれだけの人を巻き込めたか、意識しましょう。

皆さんの参考になる事例はありましたか？②と③が多いようです。

リーダーの仕事は解決することです。自信がなくても大丈夫。「ないけど頑張ってみよう」でいいんです。無理をせず、自分自身の強みを活かして自分に合うリーダー像を実現させましょう！



アクションラーニングコース オンライン成果発表会

日時/令和2年11月11日(水)

発表内容

アクションラーニングコースの塾生たちは「自己変革と組織貢献」をテーマに、3ヶ月間、自分と向き合い、周囲へのインタビューやグループワークを重ねながら自分らしく組織に貢献していくための方法を考えてきました。

オンラインによる成果発表には、スキルアップコースの塾生や受講企業の担当者なども参加し、5チーム16名が、「自分らしく組織に貢献する『自分ブランド』を確立するためのアクションプラン」を発表しました。



講 評



株式会社クオリア
アソシエイト講師 篠田 寛子氏

皆さん発表会までの間に既に行動を起こし、自己変革されている中での発表だったので、アクションプランがよりレベルの高いものとなりました。必ず実現できると感じました。これから、くじけそうな時には仲間の顔を思い出してください。きっと力になってくれると思います。私も応援しています。

【講師】

富山県総合政策局長 柿沢 昌宏氏

全く違う会社の方々と出会い、悩みを共有したり、刺激を受けて気づくこともあったかと思います。このネットワークを今後も大切にしてください。そして、学んだことを職場で活かしながら自分を高め、組織貢献につなげていただけると嬉しいです。

【事務局】

株式会社北陸銀行
ほくぎんファボレプラザ所長 高橋 博子氏

「自分の短所が長所になるとわかった」「周囲の方にもエニアグラムを実践し、相手に合わせた伝え方をしている」などの発表が印象に残りました。発表会は自分を見つめ直すいい機会だったと思います。3年後、5年後、目指した自分になれるよう期待しています。

【アドバイザー】

北陸電力株式会社 人事労務部副部長
兼 研修センター所長 光地 富子氏

自分は何をすべきか。具体的なアクションプランに落とし込み、前向きに取り組んでいらつしやることがよくわかる素晴らしい発表でした。これからの一つひとつ経験を積み重ね、その延長線上にあるリーダーを目指し、自分らしく頑張ってください。

グループ A

自己変革

変革後の自分を「私のキャッチコピー」としてプレゼンテーション。何を変革し、組織にとってどのような存在になるのかを発表した。



● 島田 清美 (アルビス株式会社)

みんなを活躍させ助ける人

周囲を活躍させられるリーダーを目指し、新たに挑戦したいことや、実践してみて良かったこと・問題点等を日々記録することで、自身の強みを増やす。また、組織に対して、レジチーフの能力向上に向けた人材育成計画を提案する。

● 山本 和恵 (株式会社アイベック)

なんでもチャレンジ、いつでも太陽のように

周囲から頼られ、常に全体最適を考え物事を判断できるリーダーを目指して、未経験の業務にチャレンジするなど経験を積むことで自信につなげる。また、周囲と話す時間を増やすことで社員のささいな変化に気づき、的確なサポートを行う。

● 中谷 郁 (特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設 みどり苑)

組織で働く人を「活かす存在」

スタッフが自主的に考え、それぞれの能力を活かせる職場づくりを目指し、活発なコミュニケーションによるスタッフ一人一人の能力の把握や、業務内容・環境の課題解決など働きやすい環境づくりに取り組み、組織全体のモチベーションアップにつなげる。

グループ
B

インポスター症候群

自信がない。人の目が気になる……インポスター症候群をキーワードに、自分なりのリーダー像、自分らしいリーダーシップについて考えた。



- 佐藤 有美 (株式会社富山第一銀行)
チームを牽引できる担当業務のスペシャリストを目指す
前向きな雰囲気を出せるリーダーになるため、周囲への声掛けを積極的に行う。また、ここは誰にも負けない!と誇れるスペシャリストを目指して、資格取得や日々の情報収集に努める。
- 近江 美聡 (富山信用金庫)
誠実に自分らしく仲間と一緒に成長できるリーダーに
人のために何かをすることや仲間と達成することが私のやりがい。今までの経験や失敗は無駄ではないと信じて、後輩に寄り添い、自分だからこそできるアドバイスをするなど、自分らしいリーダーシップを発揮する。
- 土合 晴子 (トナミ運輸株式会社)
“挑戦”することを恐れない!
自身の行動に自信をもち、後輩にとってのロールモデルの一人になることを目指し、周囲への気遣いなど自分の長所を今後も活かしながら、毎日の仕事の中でも新たなことに積極的に挑戦し、実践したことを周囲にも発信していく。
- 橋本 知英 (富山信用金庫)
自分に自信を持ち、信頼されるリーダーになる
自分に自信をもち、周囲と積極的にコミュニケーションを図り、協力し合って目標達成や問題解決に取り組める組織を目指す。

グループ
C

TEAM PLAY

キーワードは「チームプレイ」。エニアグラムによる「達成する人(山本・五十嵐)」、「助ける人(伊藤)」のチームで、自己変革した5年後の自分を考えた。



- 山本 知代 (協和ファーマケミカル株式会社)
海外事業の代名詞になる
得意分野(薬事・貿易)を持って磨きをかけ、知識を与える人になるのが目標。「山本に任せておこう」と言われるように知識の拡充や俯瞰して見る目を養い、個の成長を組織の成長につなげていく。
- 伊藤 真由美 (株式会社富山第一銀行)
の期待に応え、組織に恩返ししていく
信頼されるリーダーを目指し、管理職として一歩踏み出して積極的な発言・行動をとる。また、相手のためになることは何か、人それぞれ異なる必要としている価値について考えることを意識する。
- 五十嵐 加奈 (株式会社北陸銀行)
共に成長するロールモデルになる
周囲に寄り添い、自分の前向きな姿を見せることで、共に成長したいと思ってもらえるロールモデルを目指し、相手のためになることを考えて行動する。また、会社に対して、各組織におけるロールモデルづくりを提案する。

グループ
D

モチベーションUP

エニアグラムによる自己分析をふまえ、短所を長所にリフレームする、強みを活かすなど、さまざまな観点からモチベーションアップの手法を考えた。



- 加藤 由紀 (富山信用金庫)
セルフマネジメント能力のアップ!
仕事も私生活も充実し、誰かの憧れになるような人を目指して、セルフマネジメント能力を高め、モチベーションアップ・維持を図る。
- 大橋 悦美 (株式会社ヒスコム)
太陽のように仲間を照らし、月のようにひかり輝く
職場をより活気ある組織にしていけるために、仲間と話し合う機会を増やし、個々人の能力を結集して、組織力に変えていくことを目指す。
- 川岸 涼乃 (三井住友海上火災保険株式会社)
“頼れる存在”として組織へ貢献する
①広い視野を持つ ②円滑なコミュニケーション ③専門知識を深める
この3つをアクションプランとして掲げ、環境変化に順応し、組織にとって頼れる存在を目指す。

グループ
E

リーダーとは?

会社側が求めるリーダーや管理職イメージに対する力不足を感じてしまう日々。誰もが陥る不安要素を解消する方法を考え、自分らしいリーダー像を導き出した。



- 山上 美恵 (株式会社ケーブルテレビ富山)
誰もが活き活き働き続けられる職場を目指す
女性管理職への不安要素を解消するために、早い時期から様々な話を聞く機会を設けるほか、社内女性社員のネットワークを立ち上げるよう提案し、活動する。
- 渡辺 麻衣 (株式会社斉藤製作所)
頼り、頼られる自分らしいリーダー
朝夕のコミュニケーションに加え、部署間での「私だけが知っている」をなくし、細かいことも伝える。何に困っているかを聞き、仕事の流れを一緒に考え、働きやすい環境づくりに努める。
- 草野 はるみ (北陸電力株式会社)
「自分で考えて行動できる」チームをつくれるリーダーになる!
決めつけや思い込みをなくし、個々の可能性を広げる。自分で全てやろうとせず心の余裕をつくる。頑張った相手・自分をほめて成功体験を積み重ねる。これらを実践し、「自分で考えて行動できる」チームをつくれるリーダーになる。

アクションラーニングコース

●日時/令和2年11月11日(水)

●場所/オンライン開催



成果発表会/フィードバック

アクションラーニングコースの塾生による成果発表会終了後、フィードバックのためのグループワークを実施しました。

発表者はプレゼンテーションを通して考えたこと、さらなる課題について、聴講者(企業担当者、アドバイザー、スキルアップコース塾生)は発表を聞いた感想や意見、アドバイスなどを話しました。

インポスター症候群をテーマにしたグループでは「また自分に自信がなくなったらどうすれば?」という質問に、上司の方が「自信がなくなった自分を受け止められる人だからこそ同じように悩んでいる人のサポートができる」と、力強くフィードバックするシーンもあり、グループごとに活発な話し合いが展開されました。

共通講座



●日時/令和2年11月26日(木)

●場所/オンライン開催

オンライン・ネットワーク勉強会

公開講演会に続き、スキルアップコースとアクションラーニングコースの塾生によるグループディスカッションを行いました。

塾生たちは、講演会をきいて感じたことや当塾での学びを今後のキャリアにどう活かして実践するかについて話し合いました。最後に受講の集大成として、卒塾後半年の間に取り組んでみたいこと、達成できるよう頑張りたいことを「半年プチ目標」として宣言。気持ちを引き締めた流れで修了式に臨みました。

アクションラーニングコース スキルアップコース

●日時/令和2年11月26日(木)

●場所/オンライン開催



オンライン修了式

はじめに津田康志富山県理事・総合政策局次長が「当塾で培った知識とスキル、ネットワークを活かし、ロールモデルとして活躍されることを期待する」と挨拶を述べ、オンラインで参加した塾生たちが見守る中、各コースの代表者に修了証書を授与しました。

アドバイザー挨拶として、光地富子氏からは「楽しく仕事をする姿は人を惹きつける。壁や失敗があっても前向きに頑張ってもらいたい」、高橋博子氏は「この3ヶ月の経験を糧にした活躍を期待する」とのエールをいただきました。

最後に塾生を代表し、スキルアップコース・倉又乃梨子さん(株式会社インテック)が「当塾で学んだスキルやアイデアを今後に活かしたい」、アクションラーニングコース・伊藤真由美さん(株式会社富山第一銀行)が「それぞれの立場で成長し、富山県に恩返しを」と挨拶。オンラインで参加した塾生たちの晴れやかな表情がモニターに映し出され、拍手に包まれながら修了式を終えました。

